

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成22年 3月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	0175300409
法人名	(株)ワークサポート
事業所名	グループホーム・ふ・れ・や・か・あさひ
所在地	紋別郡遠軽町大通南2丁目1-21 (電話) 0158-49-9800

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成22年2月23日

【情報提供票より】(22年1月12日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17年 6月 10日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	21 人 常勤 3人, 非常勤 18人, 常勤換算 6.5人

(2)建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	10月~3月暖房費 7,350円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4)利用者の概要(1月12日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	8名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.5歳	最低	73歳	最高	94歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	みずしま内科クリニック	アサヒ歯科クリニック
---------	-------------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、遠軽町中心部の商店街に位置した2階建て2ユニットのホームとなっており、各ユニット職員は固定化され馴染みの関係の中での支援が行なわれています。利用者、職員は1・2階を行き来し交流されています。ホーム全体での行事の他、各ユニット毎リーダーを中心に独自の活動が行なわれ、それぞれ特徴を持つと同時に切磋琢磨し、サービスの向上に繋がっています。各ユニットを纏めている管理者の定めた『分かち愛 癒し』との理念は一感情だけではなく気持ちを込めた介護を一つの思いが込められ、職員で共有し、利用者信頼関係を構築し家族に近い関係を目指し、日々取り組んでいます。施設長は、職員の自主性を尊重し、研修会等にも積極的に参加する様促し、職員教育に努めています。利用者が集う居間には、ひな人形等季節の飾り付けがされ、家庭的で穏やかな雰囲気となっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点、運営推進会議の定期的開催、終末期ケアの環境整備、避難訓練の実施に付いて、ユニット会議、運営推進会議にて話し合い地域の協力も得ながら出来る所から改善し、サービス向上に取り組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は自己評価の意義、目的を理解し、ミーティング時に自己評価の用紙を見ながら話し合い、管理者が纏め作成しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	利用者家族、地域住民代表、民生委員、社協職員、他グループホーム管理者等をメンバーとし、昨年10月より2か月に一度開催されています。ホームの状況、行事予定、質疑応答等話し合わせ、ホームの理解を深め地域の中で利用者を支える事を目指しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を設置していますが、利用は無く、家族の面会時に意見要望を聞くように努めています。管理者、職員は何でも言って貰える関係作りを心掛け、職員の明るい対応は家族の心も癒しています。意見、要望があった時は、話し合いの機会を持ちサービスに反映する様努めています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、清掃活動や花壇の花植え等に参加し交流しています。散歩、買い物、お祭り見学等で地域住民と日常的に挨拶を交わしふれあいの機会となっています。地域の文化祭や盆踊り見学等積極的に外出しています。管理者は、町内会総会に出席し、ホームの理解を得る様努めています。ヘルパー実習生の受け入れにも取り組んでいます。

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は交代を機に、感情だけではなく気持ちを込めた介護・利用者個々の生活スタイルを支えていくという思いを込め、現状にあった理念「分かち愛、癒し」を事業所独自の柱に置いています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は日々のケアの中で理念に添っているかを確認しながら、各ユニットごとリーダーを中心に独自の活動によりサービスの質の向上に努めています。	○	理念の共有については各ユニット差があるように思われます。ミーティングはユニットごと行われていますが、理念実現のためには職員全員で話し合う機会や事業所の全体会議を設けるなど取り組むことを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、清掃活動に参加するとともに町のお祭り・文化祭等に積極的に出かけ、ふれあう機会となっています。管理者は町内会総会に出席し、ホームの理解を得るよう努めています。又、事業所をヘルパー実習生の受け入れの場として取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は自己評価の意義・目的を理解し、ミーティングの中で自己評価の項目について話し合い、管理者がまとめ作成しています。外部評価についてはできる所から改善に努めています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者家族・地域住民代表・民生委員・社会福祉協議会職員・他グループホーム管理者等をメンバーとし、昨年10月より2ヶ月に1度開催し、ホームの状況・行事予定・質疑応答等が話し合われ、ホームの理解を深める機会としています。議事録は欠席メンバー家族全員に配布されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が窓口となり、町担当者とは常に連絡をとり、相談や情報交換に努め、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	行事時にはお便りを発行し、金銭管理や状況報告が行われています。又、家族の訪問時には生活記録を見せ、報告するとともに遠方の家族や、必要に応じて生活記録を郵送し、利用者の様子を伝えています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置したり、家族の訪問時には常に問いかけ、何でも言ってもらえる関係づくりを心がけています。家族はホームに大変行きやすいとの声も多く、職員の明るい対応は家族の安心に繋がっています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットごと職員を固定化し、顔馴染みの職員によるケアに取り組んでいます。開設当初からの職員が多く、ユニットごと介護主任が配置され、職員の悩みや相談ごとの窓口としての役割を担っており、職員が楽しく仕事ができるよう環境づくりに努め、離職も最小限に抑えるよう配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加の機会を確保しており、参加した職員は復命書を作成し、ミーティングの中で報告し、資料の閲覧にて情報を共有しています。又、内部研修や職員の資格取得を奨励するなど、資質向上を目指すよう取り組んでいます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	遠紋地区の勉強会や研修に参加し、情報交換・意見交換・施設見学等を行う中で交流に努めて、サービス向上に繋がっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に事前に事業所を見学してもらい、ホームでの生活状況の説明がされています。職員は情報を共有し、一人ひとりが安心してサービスが利用できるよう、利用者の視点に立って柔軟に支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として接しており、家事や料理等と共に行う中で学び合い支え合う関係を築くとともに、本人の生き甲斐にも繋げています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中での様々な場面を通し、言葉や表情から利用者一人ひとりの希望や意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のミーティングの中でカンファレンスを行うとともに、3ヶ月に1度、サービス担当者会議を行い、利用者・家族の意向を取り入れたケアプランを作成し、家族に説明がされ同意を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度、定期的に見直しがされています。利用者の状況に変化が生じた場合はその都度話し合い、実情に応じたケアに繋がるように介護計画の見直しを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望や家族の要望など状況に応じて柔軟なサービス提供に取り組んでいます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者家族の希望するかかりつけ医への受診や、希望する利用者へは月1回の訪問診療の支援を行い、状況により受診後の報告も行っています。健康状態についても、いつでも相談できるなど適切な医療が受けられるよう支援しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については、できるだけホームでの生活継続の対応を図っており、家族と話し合い、医師と連携し方針の統一に努めています。運営推進会議の中でも事業所の対応について話し合われています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者を人生の先輩であることを常に意識し、尊厳を大切にしています。記録の保管や個人情報の取り扱いについても同意書を交わし、プライバシー保護のための徹底を図っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは大まかに決まっていますが、利用者の一人ひとりの体調や思いに配慮しながら柔軟に対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と同じ食卓につき、食事が楽しい雰囲気になるよう心がけており、一人ひとりが力量に応じて茶碗拭き・下準備・茶碗洗いなどを職員と一緒にしています。又、利用者主体を心がけ、食べたい時間帯での配慮がされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は決まっていますが、本人の希望に応じた時間帯で週2～3回の入浴支援を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりの好きな事や得意な事を発揮できるように声かけ等の工夫をし、役割や楽しみごとの支援を行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の生活の中で、外気浴や近所への散歩、町内主催のお祭りや観光地など戸外に出かけ、そこでの場面を大切にしています。本人の希望により、自宅の様子を見に出かけることもあります。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯のため施錠していますが、日中は利用者の安全面に配慮し、自由な生活を支援しています。警察には利用者の名簿が提出されており、安全確保に努めています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画書を提出し、8月に消防署の協力を得て火災予防の研修を通じて、職員は防災に対する意識向上を図っています。又、スプリンクラーの設置や遠紋地区の勉強会の中で救急救命講習を受講し緊急時に備えています。実践的な訓練はこれからになっています。	○	いつ起こるか分からない災害については、地域住民の協力を体制を整え、消防署の協力を得て、色々な場面を想定した避難訓練の実施を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本社からのメニューをもとに利用者の希望を取り入れ、栄養バランスに配慮した献立を作成し、状態に応じて食べやすい形態を工夫しています。利用者一人ひとりの食事や水分摂取量を記録し、職員間で情報を共有しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節の花やひな人形等を飾り、家庭的で穏やかな雰囲気づくりがされています。又、複数のソファを設置するとともに、一人でくつろげるスペースも確保し、換気や温度も適宜に調整しながら、居心地よく過ごせる環境になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の馴染みの家具や仏壇、生活スタイルに合わせた物が持ち込まれており、家族と相談しながら本人が安心して過ごせるよう配慮しています。		